

御意見	御意見に対する考え方
<p>「DX と SX/GX の関係性」について、「GX」については削除すべきである。</p> <p>SX はともかく GX はデジタルガバナンスとの関連性が薄く、脈絡もなく GX を含めることでデジタルガバナンス・コードの軸がぶれる。</p> <p>何でもかんでも流行り言葉を用いれば良いというわけではなく、蛇足である。</p>	<p>DX と SX/GX について、例えば、カーボンニュートラルの文脈では、温室効果ガスの排出量を把握するためにデジタル技術の活用が必須となる等の場合も考えられ、GX を進めるためには DX の推進が一つの重要な要素であると言えるとの議論がありました。DX と SX/GX、それぞれの重要性が指摘される一方で、相互の関係性が整理されていない現状を踏まえ、デジタルガバナンス・コード 2.0 において両者の関係性についても記載することとしました。</p>
<p>「対象」に、「上場・非上場や、大企業・中小企業といった企業規模、法人・個人事業主を問わず広く一般の事業者」だけでなく、「国・地方自治体」を含めるべきである。</p> <p>「一般の事業者」に比して「国・地方自治体」のデジタル化は遅れており、そのことが「一般の事業者」のデジタル化の足枷になっているため、デジタルガバナンス・コードを「国・地方自治体」に適用し、「国・地方自治体」のデジタル化を促進すべきである。</p>	<p>政府においては、行政のデジタル化の集中改革を強力に推進するため、マイナンバー制度と国・地方を通じたデジタル基盤の在り方を含め、抜本的な改善を図るとされ、「デジタル・ガバメント実行計画」（令和 2 年 12 月 25 日閣議決定）を定めており、地方自治体の DX 推進についても、「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」（令和 2 年 12 月 25 日総務省）において、「こうした情報システムの標準化・共通化といった自治体における施策を効果的に実行していくためには、国が主導的に役割を果たしつつ、自治体全体として、足並みを揃えて取り組んでいく必要がある。このため、総務省は、「デジタル・ガバメント実行計画」における各施策について、自治体が重点的に取り組むべき事項・内容を具体化するとともに、総務省及び関係省庁による支援策等を取りまとめ、「自治体 DX 推進計画」として策定し、デジタル社会の構築に向けた取組みを全自治体において着実に進めていく」とされています。</p>
<p>☆下記のように追記してはどうか。リスキリングやリカレント教育など、全社員の IT/デジタル・リテラシー向上の施策が打たれている。その中では、全社員が目指すべきリテラシーレベルのスキルとして、経済産業省において DX リテラシー標準が示されており、デジタルリテラシーを認定する国家試験として IT パスポート試験の受験を奨励している。</p>	<p>政府としてもデジタルリテラシーの普及を促進するべく、IT パスポート等の更なる普及に努めてまいります。</p>

<p>☆認定基準のサイバーセキュリティ対策を推進することで、中小企業においては、SECURITY ACTION 制度に基づき自己宣言を行っていることを確認する方法でも可とする。に加えて、デジタルスキル標準のユーザー企業および多数を占める中小企業の側、情報システムの利用部門において、セキュリティリーダーを認定する「情報セキュリティマネジメント試験」の合格者が在職していることを公表する方法でも可とする。を追記してはどうか。</p> <p>☆サイバーセキュリティリスクに対応できる体制の構築に向けた取組として、情報セキュリティマネジメント試験の合格、ならびに情報処理安全確保支援士（登録セキスペ、登録情報セキュリティスペシャリスト）の取得を会社として奨励している。情報セキュリティマネジメント試験の合格を追記してはどうか。</p>	<p>本項では、事業者の組織的な取組としてサイバーセキュリティの推進の実施を求めているため、「情報セキュリティマネジメント試験」の合格者が在職していることのみをもって認定基準とすることはしておりません。</p> <p>いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>1. 更新全般についての賛同と期待</p> <p>今回の改定では柱となる考え方と認定基準は大きな変更が行われず、望ましい方向性と取組例の具体例が追加されたことで取組みの促進が期待できると思います。DX の定義も DX 推進ガイドラインと同じ内容で明記されわかりやすくなりました。また、グローバル競争を勝ち抜くために急務となっている「デジタル人材の育成・確保」の望ましい方向性と取組例について具体的に踏み込んだ記載をされたことに賛同します。</p> <p>この改訂と共にさらに多くの企業が DX の取組を自主的・自発的に進めることを促す施策（インセンティブ）等の検討をより一層進めていただくことを期待します。</p> <p>2. 項目追加の提案</p> <p>(a) 項 2. 戦略 (2) 望ましい方向性</p> <p>・企業の持続性を示すものとして、「収益性に資する付加価値の高い製品・サービスを市場に投入していくために、データやデジタル技術を活用する。」などを追加してはいかがでしょうか。</p>	<p>改訂方針に御理解いただきありがとうございます。今後、デジタルガバナンス・コード 2.0 の内容を踏まえて、更に多くの企業が DX の取組を自主的・自発的に進めることを促す施策を一層進めてまいります。</p> <p>(a) デジタルガバナンス・コード 2.0（案）の前文において、同旨を記載していると認識しています。</p> <p>(b) デジタルガバナンス・コード 2.0（案）の望ましい方向性や取組例において、同旨を記載していると認識しています。</p>

<p>(b) 項 2-2 IT システム・デジタル技術活用環境の整備に関する方策 (2) 望ましい方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「会社全体で経営ビジョンやガバナンスの方針を共有した上で、IT 投資に関しては、現場部門に適切な予算規模の配分と権限委譲を行い、迅速に開発を行える環境を整備している」などを追加してはいかがでしょうか。 <p>(c) 項 4. ガバナンスシステム (3) 取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループガバナンスを示すものとして「企業グループにおいて一体的なビジョンを掲げ、発信している」などを追加してはいかがでしょうか。 <p>3. 項目別の記載に対するコメント</p> <p>(a) DX と SX/GX の関係性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サステナビリティとグリーンを含む経営目標を実現するためには、デジタル技術を活用した横断的な DX の推進が不可欠なものとして位置づけられると考えます。DX が課題解決の共通手段であることを鑑みて、「SX・GX 推進の手段として横断的に DX に取り組むべき」などと、縦軸・横軸の関係性で表現してはいかがでしょうか。また、※2) の注釈文は、原文の途中までが引用されており意味を成していません。“「企業群」が行う”などとしてはいかがでしょうか。 <p>(b) デジタル人材について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の改定により、「人材の確保・育成」から「人材の育成・確保」と記述が変わり、各企業でデジタル人材の育成を主とするべきとの意向が伺えます。企業での育成努力はもちろんすべきことですが、特に中小企業では、企業内でのデジタル人材育成は容易ではないと思われるため、産学連携や共創によるデジタル人材活用の場の創出や育成プログラム等の政府施策の情報を容易に入手して活用できるよう、一層の環境整備を期待します。 <p>(c) 項 2-1. 組織づくり・人材・企業文化に関する方策 (2) 望ましい方向性と (3) 取組例</p>	<p>(c) いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。</p> <p>(a) 記載ぶりを修正しました。</p> <p>(b) 「育成・確保」の記載順については、情報処理の促進に関する法律に基づく指針（情報処理システムの運用及び管理に関する指針）と記載を統一したものです。また、デジタル人材に関する政府施策等については、デジタル人材育成プラットフォーム等を活用しながら、今後とも利用者目線に立った丁寧な情報発信に努めてまいります。</p> <p>(c) 取組例に記載している各項目は相互に関連している部分も多く、「組織づくり」「人材」「企業文化」で明確に分類できるものではないため、このような記載としています。</p> <p>(d) 御指摘の新規に追加された項目も含めて、「デジタルガバナンス・コード」は、上場・非上場や、大企業・中小企業といった企業規模、法人・個人事業主を問わず広く一般の事業者を対象に、経営者に求められる企業価値向上に向け実践すべき事柄をまとめたものである性質上、多くの事業者に共通する事項として抽出された取組例を記載しています。一方、「中堅・中小企業等向けデジタルガバナンス・コード実践の手引き」は、中堅・中小企業等を対象に、実在する具体的な事例を交えながらデジタルガバナンス・コードのエッセンスを解説したものであり、両者はその性質の違いから表現が異なるものとなっております。</p>
--	---

・ (2) (3)とも項目数が多いため、項題の「組織づくり・人材・企業文化」の順に記載していただくと理解しやすいと考えます。

(d) 項 1 と 項 2-2 に追加された取組例について

・ 特に項 1 と 項 2-2 に追加された取組例は、達成度の計る仕組みを想起しづらく具体性に欠ける記述になっていると思います。「中堅・中小企業向けデジタルガバナンス・コード実践の手引き」の記述は大変わかりやすいので、これと揃えるのも一案かと思います。